広報 あそう

8月15日
№320

発行所　麻生町1561－9　麻生町役場
発行人　電話②0811㈹　小沼幸蔵
印刷所　麻生印刷

〈人口〉

男	8,932人
女	9,105人
計	18,037人
世帯数	4,135戸

8月のメモ

1日　簡易水道起工式
3～4日　農薬空中散布
6日　臨時町議会
7日　子供会球技大会
9日　町内一斉清掃作戦
23日　PTA球技大会
24日　農業委員会総会
25日　教育委員会
26～28日　福祉年金証書とりまとめ

第四回臨時町議会

災害弔慰金等の増額

条例を一部改正

昭和五十六年第四回臨時町議会が七月六日午後一時から開かれ、災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付の一部改正と、簡易水道浄水場導水管工事の請負契約についての審議が行なわれ原案どおり可決されました。

〔議案第34号〕

麻生町災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付けに関する条例の一部を改正する条例

国の法律改正にともなって町条例の一部を改正するものです。主な改正点は次のとおりです。

一、災害弔慰金の支給額

災害により死亡した者一人当りの弔慰金の額は、生計を主として維持していた場合

二〇〇万円が三〇〇万円に

その他の場合

一〇〇万円が一五〇万円に

二、災害援護資金の貸付限度額等

㈠　世帯主に療養期間一ケ月以上の負傷があって、家財に損害があり、住居に損害がない場合

八〇万円が一二〇万円に

住居が半壊した場合

一〇〇万円が一四〇万円に

住居が全壊した場合

一三〇万円が一八〇万円に

㈡　世帯主に負傷がなく、家財の損害があり、住居の損害のない場合

四〇万円が六〇万円に

住居が半壊した場合

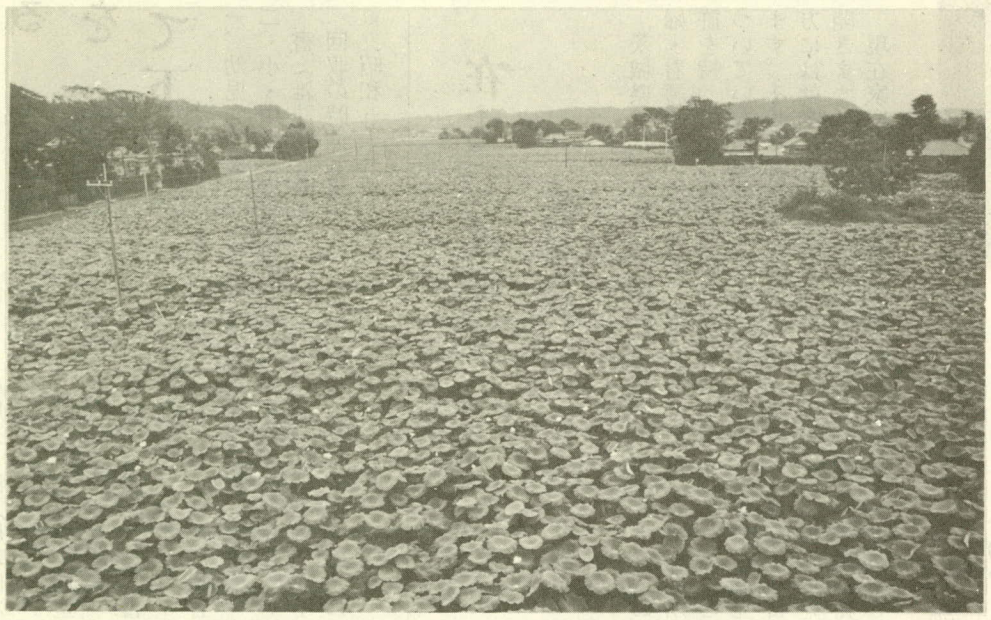
五五万円が八〇万円に

住居が全壊した場合

九〇万円が一二〇万円に

住居全体が滅失し、若しくは流失した場合

一三〇万円が一八〇万円になりました。



集団的に転作されたハス田

簡易水道

浄水場導水管工事の契約

〔議案第35号〕

麻生町第一簡易水道事業昭和五十六年度浄水場導水管工事の請負契約について

蔵川地内へ設置される浄水場導水管工事について、指名競争入札の結果、契約金額三千九百五十万円で、昭和水道土木株式会社が請負うこととなったため議会の議決を求めたものです。

工事期間は、昭和五十六年七月七日から昭和五十七年二月二十八日までの二百三十七日間です。

工事内容は、

一、導水管　硬質塩ビ管　直径一〇〇㎜、延長五九九m

二、着水井　半地下式鉄筋コンクリート造　一池　有効容量二一㎥

三、酸化槽　半地下式鉄筋コンクリート造　二池有効容量八六㎥

四、濾過ポンプ井　半地下式鉄筋コンクリート造　二池有効容量二〇㎥

五、配水池　半地下式鉄筋コンクリート造　二池　有効容量五七九㎥

六、その他　取水場電気設備浄水場電気計装設備・用地造成等です。

生産調整に

青刈でご協力を

水田利用再編対策事業による転作等の実施申込みは六月末日で町の目標面積三一九・三haに対し八〇%で、六五haの面積が不足していたため、特に七月十五日から二十日までを青刈実施指定日として再度ご協力をお願いしてきたところです。

現地確認は七月二十七日から三十一日まで行なわれましたがまだ面積が不足しております。

目標面積達成のためには皆様方のご理解ある協力をいただき、町ぐるみで推進してきましたが、これが達成されませんと国県の補助事業をはじめ、すべての農業行政に多大の支障がでてきます。

生産農家がそれぞれ二〇%の減反をしていただかないと達成できませんので、青刈の申し込みをしても実施しなかった方、又は申し込みをしていない方がありましたらぜひご協力をお願いいしします。

住みよい環境をつくるために〔5〕

水道の現況と必要性

私たちの生活にとって、水はなくてはならない大切なものです。人は食物がなくても一ケ月程度は生きていけますが、水がなければ一〇日以上生命を維持することができないといわれます。人体の約六〇%が水分からできており、もしその一〇%が失われても身体に異常がおこるといわれます。しかも水は他に代りを求めることのできない貴重なものなのです。

このように人間は水がなければ生活できないので、昔から水のあるところに集り集落を作ってきました。

麻生町は水の郷とも言われ、霞ケ浦・北浦の湖水をもとにすべての文化産業が発展してきました。このため周辺の人達は両湖水から多くの恩恵を受け水と親しみながら毎日の生活を送ってきましたが、この恵まれた環境に育った私達は水の重要性に対する考えかたが比較的少ないように思われます。

こうして町の発展と又私達の生活に多くの恵みを与えてくれた霞ケ浦・北浦の湖水も周辺地域の人口増・工場立地等の都市化の進展及び畜産業等の増加にともないその汚濁が急激に進みきわめて憂慮すべき状況にあり私達の毎日の生活用水にも少なからず影響が出ております。

こうした現況のもとで、町では、潮来保健所の協力を得て昭和五三・五四年の二ケ年にわたり飲料水の水質検査を実施しました。その結果は不純物の混入等により「飲料不適」とされたものが各地区平均七〇%以上も検出されあらためて飲料水の改善を考えさせられました。

麻生町の飲料水はそのほとんどが、各家庭ごとの浅井戸と、谷間よりの湧水による自家水道により補われ公的水道の施設がまったくなく衛生的に多くの問題点が指摘されています。

このため町では「安心して飲める水」を地域住民に供給するため簡易水道設置事業を計画しその実現のために努力しています。その第一次事業として昭和五十六年より二ケ年計画で、太田・大和地区の一部に簡易水道の設置に着手しました。

簡易水道事業の今後の必要性を御理解いただき地域の皆様のご協力をお願いいたします。

福祉年金を受けている皆さんへ

8月支払期の年金を受けたら

年金証書の提出を

福祉（無拠出）年金を受給している方は、現在、老齢福祉年金七七六名、障害福祉年金一一五名です。

これらの年金を受給している方で、八月支払期の年金を受けたら年金証書を提出して下さい。

証書の取りまとめは、次の日程表により行ないます。

また、年金証書の提出にあわせて、年金を受けている方の前年度の所得状況や恩給などの公的年金の状況を調べて今後一年間年金を受けることが出来るかどうかを確認します。

この確認をおこなったあと年金証書へ向う一年間（八月分から翌年七月分まで）の支給額を記入することになります。そのため年金証書の提出が必要となるわけです。

もし、年金証書を提出しませんと十二月期支払分より年金を受けることができなくなりますのでご注意下さい。

〔提出日程表〕

期日	時間	地区	場所
8．26㈬	前9～11時	太田	太田小学校
	後1～3時	大和	公民館大和分館
8．27㈭	前9～11時	小高	小高中央公民館
	後1～3時	行方	公民館行方分館
8．28㈮	前9～11時	麻生	麻生町公民館和室

家にねむっている子供の本を寄贈して下さい

子供の本を生かす運動が、昭和五十六年六月一日から昭和五十七年三月三十一日までの間茨城県教育委員会と麻生町教育委員会の主催で行なわれています。

家にねむっている子供の本を地域の子供たちに開放し、寄贈された本をとおして、子供たちに地域の連帯感や善意への感謝、物を大切にする心を養い、また、この運動をとおして、地域における子供たちの読書環境を整備するとともに、読書に親しむ習慣及び態度を育て、青少年の健全育成を図ることを目的として行なわれるもので次のとおり回収を実施します。

寄贈対象図書

一、幼児向図書

二、小・中学校児童生徒向図書（雑誌類は除く）

回収の時期と場所

○　昭和五十六年八月一日～八月三十日（月曜日は除く）

○　麻生町公民館事務室（電話二―一五七三）

なお、寄贈された図書には寄贈者名とシンボルマークのワッペンをつけ、寄贈者には協力証を交付します。

寄贈図書の活用については公民館の事業での使用や、小学校・幼稚園等の希望により配本をします。

在宅看護婦等の調査をしています

茨城県では、保健婦・助産婦・看護婦及び准看護婦の免許を持っていて看護の業務についていない方を調べております。そして就業を希望する方には就業に必要な講習会を開きます。

現在家庭におられる方で看護婦等の免許をもっておられる方は、役場又は保健所に調査票が備えてありますので、あなたのご希望やご意見等を記入して、八月三十一日までにお出しになって下さい。

なお、調査の結果は秘密扱いといたします。

白浜の王子庵と宝筐印塔

ふるさとめぐり ⑦⓪

白浜の王子庵

白浜の南端の北浦近くに、王子庵という寺跡があります。住民からは弁天様として聖地視されており、巨大な五輪塔やたくさんの石祀がのこされております。以前はここに宝筐印塔がありお参りする者もありましたが戦後荒廃したため、この土地の所有者である行方家の庭内へ移され管理されております。

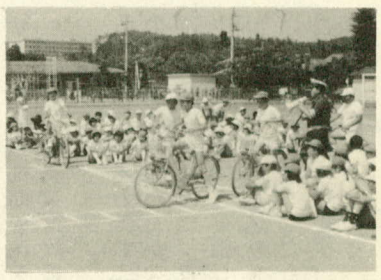
この宝筐印塔は、宝暦九年（一七五九年）に宗門的につながりのあった江戸南蔵院第十一代の祐範上人が前代の秀伝師の十七回忌供養のため建立したものと見られます。また潮来町の石塔寺にもこれと同様のものがのこされています。

麻の広場

幼稚園・小学校で交通教室が開催されました

町と交通安全母の会のよびかけにより、六月四日より七月八日までの間に幼稚園・小学校において交通教室が開催されました。

幼稚園と小学校低学年は、婦警さんより、正しい道路の横断のし方などを、ふく話術によるお話や紙しばいで指導を受け、小学校高学年は正しい自転車の乗り方について実際に校庭で乗って指導を受けました。



自転車の乗り方指導

郡民体育祭　女子砲丸投で森けい子さん優勝

七月五日に玉造町で行なわれた行方郡民体育祭大会は麻生町からも多数参加がありました。総合では第四位でしたが次の種目で優勝しました。

一、剣道

二、弓道

三、バドミントン

四、バレーボール（行方ママさんバレーボールチーム）

五、ソフトAブロック（プリンスクラブ）

六、ソフトBブロック（富田ソフトボールクラブ）

七、陸上女子砲丸投（森けい子さん）

第10回記念の町民ゴルフ大会

とき　9月8日（火）午前8時集合

ところ　セントラルゴルフクラブ　東アウト午前8時30分スタート

申込み　8月29日までに麻生町教育委員会内麻生町体育協会事務局へ

俳句

すかんぽの穂の焦げつくす暑さかな　榊原　舟人

さら〳〵と風の波打つ大青田　篠原月鈴子

句念する手帳に蟻の這い上る　小沢　葭穂

短歌

群生ふる十薬の花手触るれば滅びに抗ふごとく匂えり　箕輪　登美

直訴せる茂左エ門磔の地ひがきホテルに老等集える　土子喜美子

花木植え植えつぐことに確めし生命と思う今し揺れ咲く　平野寿美子

俚謡

光る太陽真夏の海へ親子楽しい夏休み　金田　とく

うだる暑さを元気な子供暑中休暇の蟬あつめ　金田　幸恵

農のあとつぎ育てる苦労孫と畑うつ夏休み　羽生　藤平

青少年非行防止の標語を募集します

麻生ライオンズクラブと青少年育成麻生町民会議の主催により、青少年の健全育成と非行防止の関心を喚起するため標語を募集し、優秀作品については役場前の標語塔に掲示します。

募集要項

一、標語の内容

青少年の健全育成に関する内容をもつ標語

二、応募者

一部　小学校児童

二部　中学校生徒

三部　一般

三、応募用紙と投句制限

㈠　用紙は厚さ大きさ共に官製ハガキに準ずること

㈡　用紙一枚に一標語を明記し、一人で三句以内

㈢　用紙には、校名・学年・氏名　又は住所・氏名・職業等を明記のこと

四、標語の送り先

一部・二部については各小中学校へ、三部については役場厚生課へ送付

五、締切

昭和五十六年九月十六日

六、表彰

優秀賞三点（各部一点づつ、標語塔へ掲示）

佳作若干

七、発表

一部・二部については学校長を通じ、三部については直接九月中に、又十月の広報へ掲載発表する。

八、質問

応募について不明の点は厚生課内町民会議事務局へおたずね下さい。

県政教室に参加してみませんか

十一月十三日の県民の日の普及事業のひとつとして皆さんに県政を知っていただくために行なわれるものです。

今年は昭和六〇年の国際科学技術博覧会の開催地になっている筑波研究学園都市をたずねます。宇宙センターや洞峰公園など、新しい茨城県のすがたを、この目で確かめてみましょう。

この県政教室は参加無料でバスを利用し、昭和五十六年九月三十日（水）と昭和五十六年十一月十二日（木）に実施されます。

実施内容及び申込方法等については

鹿行地方総合事務所総務課（電話〇二九一―三―四一一一）

におたずね下さい。なお八月十五日より受付を開始し、申込み多数の場合は先着順になりますので希望者は早めに申込んで下さい。

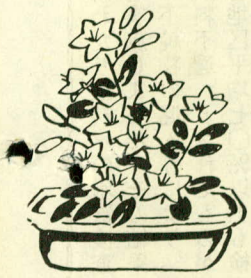
戸籍の窓口

おめでとうございます

出生者

羽生　恭子　世帯主　藤崎　昭美
立原　美和　仁也　富田　鈴木かおり
石上　幸会　東洋男　麻生　小田　裕一
越地　香織　捷彦　〃　宮内　義満
成田　圭輔　光　〃　大貫　佳代
広岡　尚剛　中村正男　〃　畑木　秀太
荒張　亮子　勇　〃　昭男　政雄
関　直大　辰雄　〃　天掛　新之助
茂木　保雄　〃　船子　小高
大原　美恵　辰夫　〃　裕一　英夫
堀越　恵美　努　〃　島並　俊
下河辺葉子　勝之　〃　南　満
荒野　秀明　進　〃　石神
今泉　裕介　一郎　〃　高橋　力吉83
今泉　猛宏　白浜　関野　政人45
今泉　猛美　昭夫　〃　井貝
羽生さゆり　孝　〃　宮本　はな78
小沢　浩一　青沼　岩戸　岩寿64
宮崎真智子　今朝男　〃　〃　リヨ
修三　小牧　〃　〃　きよ

おくやみ申し上げます

死亡者　年令　世帯主　住所

柳町　しの68　晟之　粗毛
小島　スミ76　信雄　麻生
田崎　貞80　〃　〃
新橋　タカ81　信義　矢幡
石川　きぬ54　健三郎　根小屋
奈良崎つる86　こう　蔵川
荒張　広48　勝美　白浜
鷺野　正55　一　行方
大里　一男4　勝　島並